

科目名		授業形態	担当教員名	
運動学Ⅱ		講義	谷 和真	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
運動学は身体構造や運動力学などを包括した学問であり、理学療法の基礎となる。その理解の為には、物理学の意味での運動学と、骨・関節の運動学が必要になる。運動学Ⅱでは、解剖学で学修する骨・関節・筋学および運動学Ⅰで学修する生体力学の基礎を基に、上肢の骨運動学、関節運動学などを学修し生体での運動学を理解する。				
授業の到達目標				
・上肢の各関節の構造・関節運動を理解する。 ・上肢の各関節の運動と靱帯および筋の作用との関係性を理解する。 ・上肢の運動学と運動力学の基礎を理解し、身体の動きについて理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	肩複合体①			
2	肩複合体②			
3	肩複合体③			
4	肩複合体④			
5	肩複合体⑤			
6	肩複合体⑥			
7	肘関節・前腕複合体①			
8	肘関節・前腕複合体②			
9	肘関節・前腕複合体③			
10	肘関節・前腕複合体④			
11	手関節 手部①			
12	手関節 手部②			
13	手関節 手部③			
14	手関節 手部④			
15	手関節 手部⑤			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載	授業の中で一度小テストを実施します。範囲は授業の中で説明します。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
基礎運動学 第7版		中村隆一 他	医歯薬出版株式会社	
筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版		Donald A.neumann 他	医歯薬出版株式会社	
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第4版		坂井建雄・松村譲児 監訳	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準整形外科学 第15版		井樋栄二・津村弘 他	医学書院	
PT・OTのための運動学テキスト 第1版補訂版 基礎・実習・臨床		小柳磨穀 他	金原出版株式会社	
15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学		石川朗 他	中山書店	
自由記載				
・準備物は骨標本、骨模型を使用し班となって受講します。プリント配布もあるため互いに協力し準備に臨むこと。 ・解剖学演習Ⅰ、Ⅱでの上肢分野の知識を使用して学びますので、各自、十分復習した上で受講すること。 ・状況によって進度など変更する場合があります。				